



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 椿本チエイン

コード番号 6371 URL <http://www.tsubakimoto.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大原 靖

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 和田 幸子

TEL 06-6441-0054

四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	151,517	6.4	16,199	3.2	16,868	2.6	10,776	5.2
27年3月期第3四半期	142,345	10.8	15,700	26.9	16,438	28.0	10,245	34.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 8,661百万円 (△48.7%) 27年3月期第3四半期 16,887百万円 (4.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	57.60	—
27年3月期第3四半期	54.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	265,069	149,397	54.9
27年3月期	258,742	144,291	54.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 145,417百万円 27年3月期 140,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	206,000	4.7	22,000	2.7	22,400	0.6	15,000	6.0
								80.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	191,406,969 株	27年3月期	191,406,969 株
28年3月期3Q	4,327,358 株	27年3月期	4,311,895 株
28年3月期3Q	187,087,535 株	27年3月期3Q	187,106,441 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）における当社グループの事業環境は、政府経済政策や企業業績の回復に伴う設備投資の増加などにより景気は緩やかに回復しつつありますが、期間後半より輸出に弱さが見え始めました。海外においては、米国経済や欧州経済は概ね堅調に推移しましたが、中国の景気減速が鮮明となるなど、不透明感が強まりました。

このような状況のもと、当社グループは「中期経営計画2016」の重点課題である、市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大に取り組むとともに、収益力の強化に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は1,537億58百万円（前年同期比5.2%増）、売上高は1,515億17百万円（同6.4%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は161億99百万円（同3.2%増）、経常利益は168億68百万円（同2.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は107億76百万円（同5.2%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は、次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本国内において動力伝動用チェーンや搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調であったことに加え、欧州や環インド洋における搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調に推移したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は481億83百万円（前年同期比5.6%増）、売上高は469億87百万円（同5.3%増）、営業利益は46億12百万円（同13.9%増）となりました。

[精機]

精機につきましては、日本国内において直線作動機や減速機の販売が堅調に推移しましたが、中国における減速機の販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は164億22百万円（前年同期比2.9%減）、売上高は164億17百万円（同0.9%減）となりましたが、日本国内における原価改善の効果などから営業利益は19億62百万円（同6.9%増）となりました。

[自動車部品]

自動車部品につきましては、米国、欧州、タイ、中国、韓国の各拠点において自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は549億57百万円（前年同期比12.7%増）、売上高は540億28百万円（同10.0%増）となりましたが、中国・新工場の開設準備費用増加などから営業利益は90億75百万円（同0.2%増）となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、欧州において金属屑搬送・クレーント処理装置などの売上が減少したものの、日本国内における新聞印刷工場向けや自動車製造工場向け、流通業界向けシステムの売上が増加したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は324億93百万円（前年同期比2.5%減）、売上高は325億33百万円（同6.6%増）となりましたが、欧州における売上減少の影響により営業利益は5億37百万円（同23.8%減）となりました。

[その他]

その他の受注高は17億2百万円（前年同期比11.5%増）、売上高は15億50百万円（同3.7%増）、営業利益は43百万円（同103.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して63億27百万円増加し、2,650億69百万円となりました。

流動資産は、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったことによる影響等により受取手形及び売掛金が43億3百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して46億90百万円増加し、1,213億9百万円となりました。

固定資産は、のれんの償却などにより無形固定資産が5億33百万円減少、保有株式の時価下落などにより投資その他の資産が2億10百万円減少しましたが、生産設備への投資などにより有形固定資産が23億80百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して16億37百万円増加し、1,437億60百万円となりました。

(負債)

負債は、未払法人税等が35億19百万円減少した一方で、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったことによる影響等により支払手形及び買掛金が53億1百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して12億21百万円増加し、1,156億72百万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替の変動により為替換算調整勘定が18億23百万円減少した一方で、利益剰余金が72億22百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して51億6百万円増加の1,493億97百万円となり、自己資本比率は54.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成27年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,504	17,685
受取手形及び売掛金	47,338	51,642
有価証券	12,020	9,646
商品及び製品	15,320	16,245
仕掛品	10,342	10,888
原材料及び貯蔵品	7,911	8,333
その他	6,598	7,319
貸倒引当金	△416	△452
流動資産合計	116,619	121,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,555	26,685
機械装置及び運搬具（純額）	28,640	29,485
工具、器具及び備品（純額）	2,939	3,116
土地	37,700	37,583
建設仮勘定	5,778	7,123
有形固定資産合計	101,613	103,994
無形固定資産	5,132	4,599
投資その他の資産		
投資有価証券	27,245	26,700
その他	8,270	8,594
貸倒引当金	△139	△128
投資その他の資産合計	35,376	35,166
固定資産合計	142,122	143,760
資産合計	258,742	265,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,902	31,204
短期借入金	9,722	9,441
1年内返済予定の長期借入金	2,038	797
未払法人税等	4,158	638
賞与引当金	3,983	2,277
工事損失引当金	81	45
その他	13,548	16,485
流動負債合計	59,435	60,889
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,146	15,145
役員退職慰労引当金	132	109
退職給付に係る負債	12,269	12,292
資産除去債務	245	261
その他	17,220	16,973
固定負債合計	55,014	54,782
負債合計	114,450	115,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,658	12,658
利益剰余金	103,183	110,405
自己株式	△2,055	△2,071
株主資本合計	130,862	138,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,882	10,387
繰延ヘッジ損益	25	2
土地再評価差額金	△10,892	△10,892
為替換算調整勘定	10,101	8,277
退職給付に係る調整累計額	△540	△427
その他の包括利益累計額合計	9,576	7,348
非支配株主持分	3,851	3,980
純資産合計	144,291	149,397
負債純資産合計	258,742	265,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	142,345	151,517
売上原価	98,605	105,107
売上総利益	43,740	46,410
販売費及び一般管理費	28,040	30,210
営業利益	15,700	16,199
営業外収益		
受取利息	93	91
受取配当金	486	659
その他	728	533
営業外収益合計	1,308	1,284
営業外費用		
支払利息	270	236
為替差損	-	147
その他	300	231
営業外費用合計	571	615
経常利益	16,438	16,868
特別利益		
受取保険金	93	-
固定資産売却益	10	-
子会社清算配当金	-	8
特別利益合計	103	8
特別損失		
固定資産除売却損	-	12
投資有価証券評価損	44	-
特別損失合計	44	12
税金等調整前四半期純利益	16,497	16,865
法人税、住民税及び事業税	5,587	5,247
法人税等調整額	466	676
法人税等合計	6,053	5,923
四半期純利益	10,443	10,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	198	165
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,245	10,776

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	10,443	10,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,458	△497
繰延ヘッジ損益	△128	△23
為替換算調整勘定	3,998	△1,865
退職給付に係る調整額	108	112
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△6
その他の包括利益合計	6,443	△2,280
四半期包括利益	16,887	8,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,642	8,548
非支配株主に係る四半期包括利益	244	113

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	44,634	16,570	49,138	30,506	140,850	1,495	142,345	—	142,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,076	318	—	61	1,457	604	2,061	△2,061	—
計	45,710	16,889	49,138	30,568	142,307	2,100	144,407	△2,061	142,345
セグメント利益 (営業利益)	4,048	1,835	9,060	705	15,650	21	15,671	29	15,700

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去173百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△144百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	46,987	16,417	54,028	32,533	149,966	1,550	151,517	—	151,517
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,175	298	—	192	1,666	669	2,336	△2,336	—
計	48,163	16,715	54,028	32,725	151,633	2,220	153,853	△2,336	151,517
セグメント利益 (営業利益)	4,612	1,962	9,075	537	16,188	43	16,232	△32	16,199

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△32百万円には、セグメント間取引消去168百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△201百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。